

第20回 中学校給食推進連絡調整会議 会議録

- 開催日時 平成29年10月26日(木) 13:30~14:40
- 場 所 高津市民館 第1音楽室
- 出席者 委員：小学校校長会 田中校長、山崎校長
中学校校長会 安部校長、堀米校長
川崎市PTA連絡協議会 吉澤会長、山本副会長、宮嶋事務局長
川崎市教職員組合 榎間書記次長
教育)石井健康給食推進室長
澁谷教育環境整備推進室担当課長、田中(道)健康給食推進室担当課長
古俣健康給食推進室担当課長、田中(一)健康給食推進室担当課長
北村健康給食推進室担当課長
※欠席者：
川崎市教職員組合 加藤書記長
教育)広瀬教職員人事課長、古内企画課長、佐藤指導課担当課長、
阿部南部学校給食センター所長、
末木中部学校給食センター開設準備担当課長
若尾北部学校給食センター開設準備担当課長

事務局：教育)健康給食推進室 二瓶課長補佐、新田担当係長、葛山担当係長、
沼田主任

■内 容 (進行 健康給食推進室)

- 資料確認 —
- 座長挨拶 —

- 資料1-1 学校給食センターの稼働に伴う完全給食の実施について
- 資料1-2 学校給食センター(施設概略図等)
- 資料2 南部学校給食センター配送対象校における給食実施状況等について —
(事務局より説明)

委 員 南部学校給食センターが稼働し、給食が始まった学校の様子を伺いたい。

委 員 中学校給食を始めるにあたって、事務局には大変お世話になった。毎日のように学校へ来ていただき、学校の要望にもすぐ対応していただいた。生徒も喜んでおり、保護者の期待も高い。また、不登校の生徒が登校できるようになったという例や、一日の食事のなかで、給食が一番いいという生徒もおり、中学校給食実施の意義は大きい。
開始前は、配膳室に食器・食缶の受け取り等で相当数の生徒が集まるので混乱するのではないかと危惧していたが、生徒はすぐに慣れ、現在は混乱もない。学年別でいえば、より小学

校から経過が浅い1年生の手際が良い印象だった。教職員が生徒指導を行うとともに、異物混入を防ぐために、掲示物なども点検し細心の注意を払った。現在までに異物混入等の事故はない。全体を通してスムーズに給食運営が実施されている。

気になる点としては、1年生と3年生では食べる量の差があるので、配食の量が同じというのがどうなのか、また、シチューなど箸では食べにくい献立もあり、スプーンを持ってこないと困ってしまうことや、配食の際、食器に盛り付ける数や量に戸惑うことがある。磁器食器は割れてしまうので、PEN樹脂食器もよい食器なので、入れ替える時にはPEN樹脂食器でもよいのではないかと。学校での会計処理は、これまでのミルク給食から完全給食となり、教職員内で事務分担をして連携処理をしないと煩雑になる。

アレルギーについても注意を払って対応していく必要がある。

- 委員 中学校給食については概ね好評のようだ。
- 委員 センター方式については、配送時間について心配があったが、実際に始まってみて支障なく運用できているか。
- 事務局 配送時間については、学校給食センターと学校間の試走を重ね、配送計画を策定した。南部学校給食センターが本格的に稼働してから、計画通りに配送できている。調理場内での配缶作業に遅れが出ると、配送車の出発が遅れてしまい、学校への到着が配送計画より遅れたという事例があったが、余裕をもった配送計画としており、給食時間が遅れるということはない。
- 委員 配膳員の勤務時間外に、デザートなどは業者から直接学校へ納品される。その際、教職員も納品業者も受け渡しに混乱したことがあり、どのように受け渡しをするのか事前に調整し、周知していただきたい。
- 事務局 中部・北部学校給食センターの給食開始に向け、南部学校給食センター及び配送対象校での事例を踏まえて準備を進めていきたい。
- 委員 食器に汚れがあり、学校で予備と交換していただけない対応があったようだ。
- 事務局 学校給食センターでは、食器を自動洗浄機で洗浄した後、事業者がチェックを行っているが、汚れが残っているという指摘を受けお詫び申し上げる。ダブルチェックなど、さらに厳しいチェックをするよう事業者に申し入れた。
- 事務局 食器は、各クラスに1セット、職員室に10セット多く用意している。汚れ等がある場合はそれに対応していただきたい。
- 委員 当校でも同様なことがあり、職員室の予備で対応した。
- 委員 各クラスの先生方にその情報があれば、予備との交換対応をしていただけたのではないかと。
- 事務局 しっかり周知をしていきたい。

- 委員 給食の味が薄いという話を聞いた。部活動などで汗をかくので、そのように感じる生徒もいるのかもしれない。
- 委員 メニューにもよるが、全体的に塩味は薄いかもしれないが、食塩を足すほどでもない。パンの時は、バターなど付けるものが欲しい。
- 事務局 学校給食については、文部科学省の学校給食摂取基準で、塩分が3g未満となっている。出汁をしっかりとるなど、美味しい給食にしていきたい。

— 資料3 中部・北部学校給食センター稼働に向けた準備状況等について

資料4 平成29年度中学校給食に関するアンケート実施要領（案）

資料5 中学校完全給食実施における食育推進の取組について —

（事務局より説明）

- 事務局 資料2の補足だが、南部学校給食センター配送対象校にヒアリングを行ったが、どの食器にどのように盛り付ければよいのかわからない、ぶどうを何個盛り付ければよいかかわからないなどの意見があった。今後もヒアリング実施校を増やし、こうした意見を反映し、円滑な学校給食運営ができるようにしていきたい。また、自校給食も含め、中部・北部学校給食センターを含む全52校の中学校給食をより良いものにしていきたい。
- 委員 東橘中学校との合築校の子母口小学校では、他の中学校に先駆けて東橘中学校で中学校給食が始まったということで、準備段階から教職員が努力されているところを見てきた。現在、次々と他の学校も始まっていき安心している。小学校とのメニューの違いなどもあるが、東橘中学校では、安定して給食が提供されている。給食時間まで何も食べていないという子どももあり、学校給食は大変大事なものだ実感している。
- 委員 中学校給食に関するアンケートについては、設問内容等を調整するのか。
- 事務局 委員の方々でご意見等あれば事務局へご連絡いただきたい。
- 委員 中学校給食に関するアンケートについて、先行して実施している自校・合築校で既に実施しており、味が薄い、肉が食べたいなど様々な意見があるが、学校給食センターの稼働が落ち着いたら、PTAの方々にも試食していただきたいと考えている。
- 委員 この3年間、中学校も教育委員会も本市で初めての中学校給食事業に取り組んできた。これまでの尽力に感謝したい。本年12月には、中部・北部学校給食センターが稼働し、全校で中学校給食が始まるが、これがゴールではなく始まりだと思っている。これからもよろしく願いたい。

味が薄いのではないかというご意見があったが、今の日本の食事の味が濃いと思う。学校給食が普通であって、家庭の味が濃くなっており、健康が損なわれているのではないかと感じている。我が家では、子どもが小さい時から、健康に配慮し薄味にしている慣れているので、学校は都内だが、学校給食の味が濃いと言っている。十分に吟味して献立が作成されている本市の学校給食がスタンダードとなり、家庭の見本になればよいと思う。学校給食の味が本来の味だという啓発になればよい。

委員 盛り付けの際、どの食器に盛り付ければよいか、小学校では配膳見本などを置いたり、盛り付け例の写真を掲示したりしている。

委員 各学校で工夫している。

事務局 学校へのヒアリングなどを通して、参考例をアナウンスしていきたい。

委員 中学校給食が始まり、目の前の給食に対する生徒達の意識を考えてあげなければいけないと感じた。「市P協かわさき」の臨時号で中学校給食の特集を組んだが、今年度中に改めて特集を組みたい。原稿作成に当たり、事務局には協力をお願いするが、食育について我々保護者も考えていかなければならないことを誌面に掲載したい。

薄味についてだが、野菜が多い献立ということで喫食するまでの間に水分が出て薄味になってしまうこともあるのではないかということについて、検証していただければと思う。

— 室長挨拶 —

14時40分 閉会